

マンジャロ

マンジャロは、世界初のGLP-1（グルカゴン様ペプチド-1）受容体作動薬とGIP（胃抑制ペプチド）受容体作動薬の複合注射薬です。これらのホルモンは、血糖値の調節と食欲の抑制に関与しています。**マンジャロの使用により、食事による血糖の上昇を抑えるとともに、満腹感を高めるため、食事量が減少し、結果的に体重減少が期待されます。**

マンジャロはオゼンピックよりも高い減量効果が望める一方で、副作用の差はほとんどないとされています。そのため、**リベルサスやオゼンピックで減量の効果をあまり実感できなかった方におすすめです。**また、GIPの効果により、GLP-1ダイエット薬の副作用でよくみられる吐き気の症状が緩和されます。

処方された場合は、説明書を同封いたします

料金

マンジャロ2.5mg	1本 8,800円	4本 31,200円 (1本7,800円)
マンジャロ5mg	1本 13,800円	4本 51,200円 (1本12,800円)

※クール便のため送料が1,800円となります。

※他院割引5%OFFや、他いかなる割引もマンジャロは対象外です。

用法・用量

週一回の皮下注射となります。

注射のタイミングは毎週同じ曜日、同じ時間に行うと良いでしょう。

1本1回使い切りのペン型タイプです。

注入ボタンを押すと皮下に自動で針が刺さり一回分の薬剤が注入されます。

通常2.5mgからの開始となります。

効果が不十分な場合は開始から4週間後、5mgへの増量が可能です。

通常、腹部、太もも、または上腕部に皮下注射します。

同じ場所に注射し続けると皮膚が硬くなり効果が薄れてしまうことがあるため、前回の部位から2~3cm離れた部位で注射するなど、毎回注射する部位を変えるようにしましょう。

保管は**冷蔵保存**となります。

2°C~8°Cでの保管が推奨されています。

■ 投与を忘れた場合

次の投与日まで3日（72時間）以上ある場合

- ・・・すぐに投与し、その後はあらかじめ定めた曜日に投与

次の投与日まで3日（72時間）未満の場合

- ・・・忘れた分をとばして、その後は次のあらかじめ定めた曜日に投与

副作用

- 一般的な副作用：吐き気、下痢、嘔吐、便秘などの消化器症状が多く見られます。これらは通常、体が薬に慣れると軽減することが多いです。
- 重大な副作用：
 - 低血糖：特にインスリンや他の糖尿病治療薬と併用している場合、低血糖のリスクが高まります。動悸やふるえ、眠気などの症状がみられます。その際はアメなど糖分の入った食べ物・飲み物を摂取するようにしてください。
 - 膵炎：激しい腹痛や背中に放散する痛みなどの症状がみられます。
 - 甲状腺腫瘍リスク：動物実験で甲状腺の腫瘍が確認されているため、特に家族に甲状腺疾患がある場合は注意が必要です。

注意点

服用ができない人

- 過去にリベルサス、オゼンピック、マンジャロの使用でアレルギーや膵炎等の副作用があった方
- 妊娠中・授乳中および、数か月以内に妊娠を希望されている方
- 重度の胃腸障害や栄養不良状態などの方

- 糖尿病の治療中などで他の糖尿病治療薬を内服・注射している方
- 甲状腺髄様癌の既往歴がある方、またはそのリスクがあるとされる方
- 大きな開腹手術を受けたことがある方、術後に腸閉塞や感染症などの合併症があった方
- BMI23未満の方は診察したうえで、状態によっては処方できない場合がございます。その場合は、リベルサスやオゼンピックをお使いいただけます。

その他の注意点

- ピル、ワーファリンを服用中の方：減量目的の場合、ピル（経口避妊薬）・ワーファリンとの併用は推奨しません。禁忌ではありませんが、併用することでピル・ワーファリンの効果が下がります。
- 過度な飲酒アルコールは血糖値に影響を与え、低血糖のリスクを増やしますので、適度に抑えることが推奨されます。
- 廃棄方法：基本的にはお住まいの各自治体の指示に従ってください。可燃ごみとして廃棄する場合は針が露出していないことを確認し、牛乳パック等の固い容器に入れて、封をしっかりと閉じポリ袋等に入れて密閉してください。